

来月25日の日ハム—西武戦

道都大イベント担当

【北広島】「道都大デー」と銘打ち、札幌ドームで八月二十五日に行われる北海道日本ハム—西武戦に向け、同大の学生が準備を進めている。当日は試合開始から終了までの全イベントを学生自身が企画、演出、運営する。スポーツビジネスを体験してもらう同球団初の試みとなる。

プロスポーツの経営分野で優秀な学生を育てたい球団と、特徴あるカリキュラムを提供し、進学希望者を増やしたい同大のニーズが合致。スポーツコンサルティングの「クロス・ビー」（東京）とも連携して、同大が本年度開設した初のスポーツビジネス体験講座の一环として行われる。当日は、同講座を受講する一—四年生三十四人が参加。工夫を凝らした宝探しゲーム、障害者支援サーブラスなど、

球団初の試み、学生準備

学生ならではの発想でユニークなイベントを予定する。

学生は現在、フリーペーパーの発行や、Tシャツなど当日限定のオリジナルグッズの商品企画など四グループに分かれ、各担当が球団や札幌ドームに行き、選手の取材や営業活動を行っている。七月中旬には、スタジアムの大型スクリーンで当日放映する同大のCM撮影のため、球団マスケットキヤラクター「B・B」と、ファイターズガール二人が同大を訪れた。

CMのディレクターを務める美術学部三年の平野尚史さん(三)は「約五万人のファンが見ると思ったら、出来栄が心配」と不安を漏らす一方、「貴重な体験で、とてもやりがいを感じる。来場者が満足するCMを作りたい」と意欲を語る。

(後藤敦)



道都大のCM用にファイターズガールとB・Bを撮影する学生